

【本宣言の趣旨】

本宣言は、長柄町のローカルルールとして、歩道やガードレールにより歩行者の安全が確保されていない道路で子どもたちを見かけたら、ドライバーの皆さんが出速してくださいるように、自主的な協力をお願いする呼びかけです。義務的なものではないことから、罰則も当然ありません。車を運転する大人たちによって、子どもたちの安全・安心を守るという意識のもと、ご協力をお願いするものです。

長柄町の道路は、かねてから順次整備を進めており、近年は長柄町交通安全プログラムに基づき危険個所の改善に努めています。しかしながら、全ての道路に歩道やガードレールを設置することは難しい状況にあり、路肩部分を歩くのに自動車との距離が近くなり、危険を伴う通学路も少なくありません。そこで、自動車で道路を利用される大人たちの意識を高め、行動様態を改めていただくことで、実際の交通安全効果を高めようとするものです。

子どもたちを大切にし、その安全・安心を確保することは、今日の我々が最優先すべき課題の一つです。本宣言は、あくまで努力目標としての長柄町のローカルルールでの宣言ですが、近隣の一宮町、睦沢町、長生村では既に取り組みを始めており、お隣の長南町においても本町と合わせ取り組みを開始することとしています。この輪を長生地域からより広い地域に広げ、交通安全の確保について大きな効果が得られるものと期待しています。

2021年6月に八街市で通学中の子どもたちの列にトラックが飛び込み、児童5人が巻き込まれ犠牲になる痛ましい事故は記憶に新しいと思います。飲酒の上の居眠り運転が原因であり、運転手の行為は許しがたく、管理責任があった会社にも問題があったことは言うまでもありません。

しかしながら、子どもたちの安全確保は社会全体で責任を負うべきものであり、そういった意味からは、こうした悲惨な事故の発生には、我々大人一人ひとりにも応分の責任があったとも言えます。

私たちは、こうした悲しい事故が発生する前に、いかにして子どもたちを守るか、社会全体でより真摯に取り組むべきだったと考えます。その大きな悔恨の思いを込めて、本宣言を長柄町に掲げるものです。